



2023年6月号

編集：田村

こんにちは。獣医師の田村です。以前の勤務先では犬と猫の診療に加えて、小型哺乳類（ハムスターやモルモット、ウサギ、フェレットなど）の診察も行っていました。当院での来院数は多くないですが、小型哺乳類について書いていきたいと思えます。今回はその中でも、比較的飼育頭数の多いウサギにまつわる都市伝説に触れたいと思います。私見や有名エキゾチックアニマル専門獣医師から教えていただいた話なども交えていますので、こういった考えや説もあるのかと思いながら、読んでいただけますと幸いです。

ウサギにまつわる噂。それって本当？

① ウサギには水をあげなくていい、て本当？

- ・嘘です。
- ・水を与えると下痢になると言われることもあるようですが、ウサギにも適量のお水が必要です。
- ・むしろ、他の動物と比較してウサギは飲水量が多いといわれています。1日の平均飲水量は体重1kgあたり50~150mlですので、適切な量のお水をいつでも新鮮な状態で飲めるようにしてあげてください。
- ・ただし、犬などよりも水分喪失量に余裕があり、体重の約半分の水分が失っても耐えられるという報告もありますので、脱水には強い可能性はありそうです。



② 寂しいと死んじゃう、て本当？

- ・死にません。
- ・こういわれるようになった起源は、某ドラマの誰々が言ったとか、ウサギの販売業者が販売促進のために言い始めた、などの説があるようです。
- ・ペットのウサギは一般的にはアナウサギ属であり、野生では群れを形成して生活していますが、単独でも十分飼育することができます。多数飼育する際には、ウサギ同士だけでなく、他の動物種、たとえば犬やインコなどの小鳥ともよく共存するといわれています。しかし、モルモットには *Bordetella bronchiseptica* という病原性を有する細菌をうつしてしまうため、モルモットと一緒に飼育しない方がいいです。
- ・ストレスには弱いと考えられていますので、ストレスの影響で胃腸や心臓などの調子が悪くなる可能性があります。また、自然界では食べられる側の動物であるため、体調不良を隠す傾向が指摘されており、突然死することがあります。それを見た飼い主さんが、かまってあげられていなくて、亡くなってしまったと考えるケースもあるようです。



③ 実験で使われたウサギが逃げ出し繁殖したウサギの楽園がある？

- ・「ウサギの島」といわれる現在600匹ほどの野生のウサギがいる大久野島があります。
- ・大久野島は、戦時中に毒ガス製造をしていたとして、その際にウサギを飼育していた経緯はあるようですが、大久野島に現在生息しているウサギは、地元の小学校から放されたウサギが繁殖したと考えられているようです。
- ・数年前に私も島を訪れたことがあります。百匹以上のウサギとたわむれるという大変貴重な時間を過ごせました。広島県にありますので、ウサギ好きはぜひ一度行かれることをお勧めします。

